

# いつもそばにいるよ ～友達とのトラブル1人で悩まないで～

あきる野市では、「あきる野市いじめ防止基本方針」(平成27年4月制定 令和元年12月改定)に基づき、いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携を図るため、学校、教育委員会、児童相談所、法務局、都道府県警察、その他の関係者により構成されている「いじめ問題対策連絡協議会」を設置しております。

本協議会は、年間2回実施し、19人の委員により構成され、児童・生徒のいじめについて情報交換や対策を検討しています。

そこで、昨年度、12人の委員の方から、いじめに対する考えや思いを綴ったメッセージをいただきました。今回、あきる野市の児童・生徒、保護者、地域の方へ向けて、メッセージの一部をご紹介します。(敬称略)

## 委員からの メッセージ

**増戸小学校長 永曾 久美子**

「自分を大切にしよう 友達を大切にしよう 全ての人が、大切にしよう」全ての人が、自分も、自分以外の人も大切にできれば、いじめは起こらないでしょう。自分の良さを知り、自分のことを大切にしましょう。自分のことを大切にしていれば、自分を大好きになって、自分に自信があれば、辛さや悲しみ、イライラした気持ちを、誰かをいじめめることで晴らす必要はなくなります。

ります。

友達をいじめない自分は、優しい人です。いじめられている友達がいると気づいたら、助けたり、大人に知らせてください。友達を守る自分は勇気ある人だと気づいてください。いじめられて悲しんでいる人、辛い思いをしている人は、誰かに相談してみてください。独りぼっちではないと気づいてください。皆さん一人一人が、とても素敵です。みんなで力を合わせていじめが起らない学校で、楽しく過ごしていきましょう。

**五日市中学校長 齋藤 弘圭**

「誰かにいじめられている君へ」まず一言。話せば必ず味方が増えます。いじめの事実を知れば、世の中の多くの人はあなたの味方をします。そして、どんな味方は増え、いじめが解消されます。もう一言。つらい経験をしたあなたが、今度は他の誰かを助ける力を身につけた時、その力を貸してください。

時、その力を貸してください。

「誰かをいじめている君へ」君は、もしかすると、過去に自分が嫌な思いをしたり、今、学校や家で辛い思いをしていないでしょうか。人や生き物をいじめることで、間違った安心感をもつ現象が実際は起こっています。素直で純粋だった頃の自分に戻りませんか。

**東京純心大学  
現代文化学部**

**こども文化学科**

**教授 岡部 廣**

あきる野市が掲げるいじめ撲滅三原則の徹底は、全ての人の目標です。「するを許さず」「されるを責めず」「いじめに第三者なし」見て見ぬふりをしないことをこれからも続けていきましょう。

**前立川児童相談所長**

**鈴木 香奈子**

色々考えても自分で解決できないこと、嫌だと思ふことがあれば、自分だけで抱え込まず、他の人に話してください。周りの大人や友達に話せばいいことは、電話相談をしてみてもよいと思います。知らない人の方が話しやすいこともありますね。勇気を出して、話してください。一緒に考えてくれる人がいますよ。

いますよ。

**警視庁五日市警察署  
生活安全課長 前原 秀俊**  
一人で悩むことなく、自分の気持ちを素直に話してほしいです。そのような機会と話し相手がいれば、子どもを取り巻く悪環境から救い出せるように感じています。

**大多摩人権擁護委員協議会  
本堂 節子**  
人権問題を自分の問題として捉え、人権を尊重することの大切さについて考えてほしいです。

**あきる野市町内会・自治会連  
合会長 網代 和夫**  
大人が児童・生徒への興味関心をもち、子どもたちの安全・安心に注視する姿勢を示すことで、周囲の大人たちを巻き込むとともに、児童・生徒の心や人間力を育てていけるものと考えます。結果として、いじめ問題の発生が防げるものと思います。



たくさんの方が、みなさんのことを見守っています。何か困ったことがあるときは一人で抱え込まず、相談してくださいね。

